

3 大規模化する農業と成長する工業

○大農園での農業

南アメリカの農業：植民地時代に大農園がひらかれ、さまざまな作物を栽培

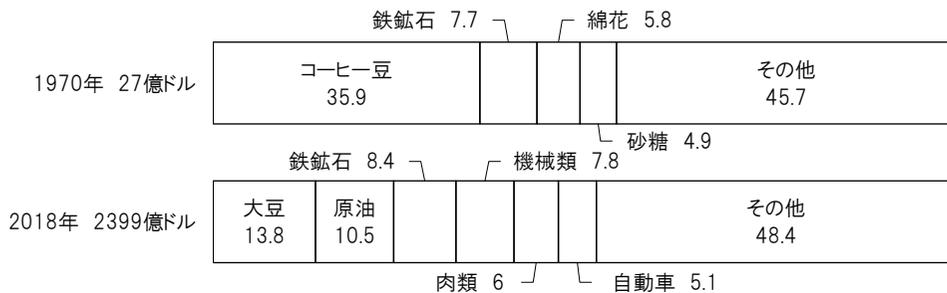
- ブラジル：サトウキビやコーヒーの栽培
- アルゼンチンのパンパ：小麦の栽培、肉牛の放牧
- エクアドル・コロンビア：多国籍企業が経営する() **でバナナの大規模栽培

ブラジルの農業：以前はコーヒー豆の輸出に依存した() *

→近年ではコーヒー豆や大豆・サトウキビ、鶏肉や牛肉などの生産量が増加

- 大豆：アメリカなどの() を行う企業に大量に買い付けられ、主に中国などへ輸出
- サトウキビ：砂糖だけでなく、バイオ燃料の原料として使用

＜ブラジルの輸出品の変化＞



○豊かな資源と工業化

南アメリカの鉱工業：() に恵まれる

- 例) ブラジルの鉄鉱石、チリの銅、ベネズエラ・エクアドルの原油など
- 鉱産資源の輸送のための施設を整備、後に工業にも利用

ブラジル・アルゼンチンの工業：1960年代後半、アメリカや日本などの外国企業を受け入れる

- 鉄鋼や自動車などの重化学工業の成長
- 特にブラジルでは、航空機の輸出や大規模な海底油田を採掘

アンデス山脈周辺の国々：工業化はあまり進まず

- 鉱産資源や農作物の輸出に頼る

○産業の発展に伴う課題

ブラジル：都市化により内陸部の農村との経済格差が拡大

- 都市では多くの人々が集まり、丘陵や河川敷などに() が形成